

運用報告書（全体版）

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド ブラジルリアルコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年10月8日から2025年9月25日までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース	投資信託証券。
	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド-BRLクラス	主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行います。
	国内短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド-BRLクラスへの投資を通じて、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、ブラジルリアルを買い予約する為替取引を行います。	
組入制限	新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。前記にかかわらず、前記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第167期	<決算日	2024年10月25日>
第168期	<決算日	2024年11月25日>
第169期	<決算日	2024年12月25日>
第170期	<決算日	2025年1月27日>
第171期	<決算日	2025年2月25日>
第172期	<決算日	2025年3月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース」は、2025年3月25日に第172期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			投資信託 受益証券 比率	債券組入 比率	純資産 総額
			税分	込配	み騰落中率			
第25作成期	143期(2022年10月25日)	円 1,322		円 3	% 2.3	% 97.6	% -	百万円 3,306
	144期(2022年11月25日)	1,272		3	△3.6	96.9	-	3,131
	145期(2022年12月26日)	1,281		3	0.9	98.2	-	3,104
	146期(2023年 1 月25日)	1,281		3	0.2	97.5	-	3,075
	147期(2023年 2 月27日)	1,314		3	2.8	97.0	-	3,120
	148期(2023年 3 月27日)	1,235		3	△5.8	97.7	-	2,897
第26作成期	149期(2023年 4 月25日)	1,331		3	8.0	96.9	0.1	3,087
	150期(2023年 5 月25日)	1,400		3	5.4	97.3	0.1	3,230
	151期(2023年 6 月26日)	1,518		3	8.6	96.9	0.1	3,463
	152期(2023年 7 月25日)	1,521		3	0.4	97.5	0.1	3,443
	153期(2023年 8 月25日)	1,532		3	0.9	97.0	0.1	3,422
	154期(2023年 9 月25日)	1,554		3	1.6	97.6	0.1	3,449
第27作成期	155期(2023年10月25日)	1,520		3	△2.0	98.3	0.1	3,342
	156期(2023年11月27日)	1,587		3	4.6	97.5	0.1	3,460
	157期(2023年12月25日)	1,583		3	△0.1	97.0	0.1	3,407
	158期(2024年 1 月25日)	1,610		3	1.9	97.7	0.1	3,435
	159期(2024年 2 月26日)	1,634		3	1.7	98.4	0.0	3,459
	160期(2024年 3 月25日)	1,650		3	1.2	97.8	0.1	3,452
第28作成期	161期(2024年 4 月25日)	1,619		3	△1.7	98.3	0.1	3,361
	162期(2024年 5 月27日)	1,655		3	2.4	97.2	0.1	3,408
	163期(2024年 6 月25日)	1,626		3	△1.6	98.1	0.1	3,312
	164期(2024年 7 月25日)	1,518		3	△6.5	96.9	0.1	3,071
	165期(2024年 8 月26日)	1,491		3	△1.6	96.9	0.1	3,009
	166期(2024年 9 月25日)	1,508		3	1.3	98.5	0.1	2,989
第29作成期	167期(2024年10月25日)	1,524		3	1.3	97.8	0.1	2,980
	168期(2024年11月25日)	1,528		3	0.5	96.8	0.1	2,955
	169期(2024年12月25日)	1,461		3	△4.2	97.5	0.2	2,744
	170期(2025年 1 月27日)	1,535		3	5.3	98.1	0.2	2,863
	171期(2025年 2 月25日)	1,523		3	△0.6	96.6	0.2	2,831
	172期(2025年 3 月25日)	1,542		3	1.4	97.0	0.2	2,849

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

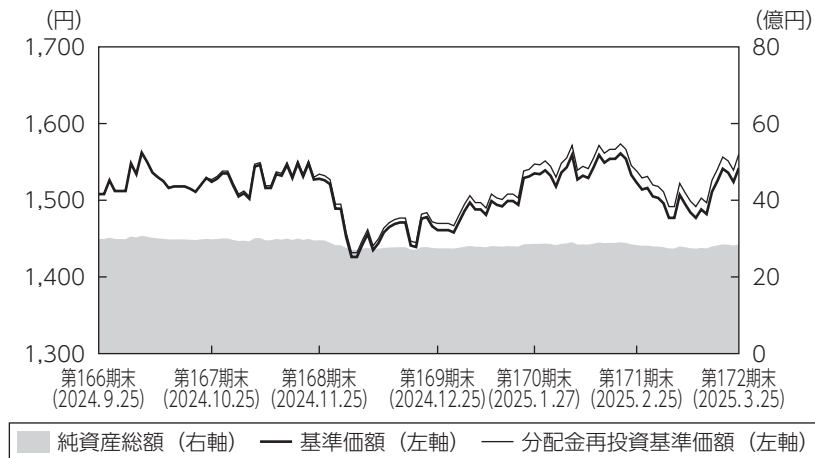
■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額	投資信託受益証券 組 入 比 率	債 券 組 入 比	入 率
			騰 落 率			
第 167 期	(期 首) 2024 年 9 月 25 日	円 1,508	% －	% 98.5		% 0.1
	9 月 末	1,512	0.3	96.8		0.1
	(期 末) 2024 年 10 月 25 日	1,527	1.3	97.8		0.1
第 168 期	(期 首) 2024 年 10 月 25 日	1,524	－	97.8		0.1
	10 月 末	1,519	△0.3	98.0		0.1
	(期 末) 2024 年 11 月 25 日	1,531	0.5	96.8		0.1
第 169 期	(期 首) 2024 年 11 月 25 日	1,528	－	96.8		0.1
	11 月 末	1,489	△2.6	98.5		0.2
	(期 末) 2024 年 12 月 25 日	1,464	△4.2	97.5		0.2
第 170 期	(期 首) 2024 年 12 月 25 日	1,461	－	97.5		0.2
	12 月 末	1,458	△0.2	97.5		0.2
	(期 末) 2025 年 1 月 27 日	1,538	5.3	98.1		0.2
第 171 期	(期 首) 2025 年 1 月 27 日	1,535	－	98.1		0.2
	1 月 末	1,518	△1.1	98.3		0.2
	(期 末) 2025 年 2 月 25 日	1,526	△0.6	96.6		0.2
第 172 期	(期 首) 2025 年 2 月 25 日	1,523	－	96.6		0.2
	2 月 末	1,505	△1.2	96.6		0.2
	(期 末) 2025 年 3 月 25 日	1,545	1.4	97.0		0.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第167期～第172期の運用経過（2024年9月26日から2025年3月25日まで）

基準価額等の推移



第167期首： 1,508円
 第172期末： 1,542円
 （既払分配金18円）
 騰 落 率： 3.5%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

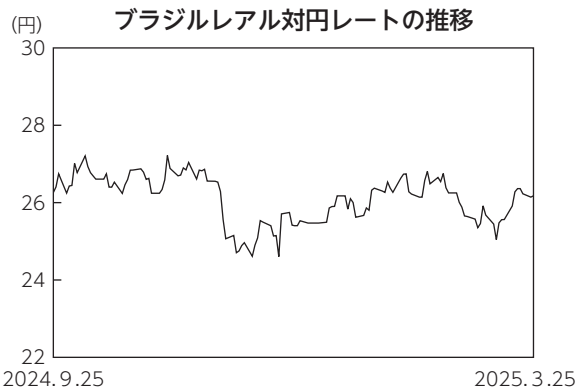
基準価額の主な変動要因

円建てのケイマン諸島籍外国投資信託である「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーBRLクラス」（以下、ハイイールド・ボンド・ファンドといいます。）を通じて、主として海外のハイイールド債券に実質的に投資を行いました。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資を行いました。ハイイールド債券市場が上昇し、円安ブラジルリアル高となったことから基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

投資環境

当作成期は、期初から11月上旬にかけては米大統領選挙も控え、様子見姿勢等から概ね横ばいに推移しました。その後、米大統領選でトランプ候補が当選し、上下両院も共和党が多数を占める、「トリプルレッド」になったことから、政治の不透明感が払拭されたほか、インフレ指標の鈍化によるF R B（米連邦準備理事会）の利下げ期待が回復したこと等を受けて、上昇しました。

当作成期は、期初から11月中旬にかけてはほぼ横ばいに推移しました。その後は11月下旬に新政権の財政政策が財政健全化に消極的であるとの懸念から大幅にブラジルレアルが売られたものの、ハダジ財務相が財政問題に積極的に取り組む姿勢が市場に好感されたこと等から、上昇に転じました。



国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りはプラス圏で始まり、当期末にかけて概ね上昇傾向で推移しました。日銀は2025年1月に政策金利を0.25%から0.50%に引き上げました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れました。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。

●WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーBRLクラス

2025年3月24日時点でのポートフォリオの状況は、キャッシュを除くベースで保有銘柄数は116銘柄、地域別では米国を選好しました。信用格付け別では、B格やBB格の銘柄を中心に組み入れを継続しました。また、セクター別では消費者関連、資本財、通信などを中心とし、市場動向等に合わせて銘柄選択を行いました。

なお、作成期末時点で、当ポートフォリオにはクレディ・スイスのAT1債が組み入れられています。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

●国内短期公社債マザーファンド

残存期間の短い国債や地方債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期	第172期
	2024年9月26日 ～2024年10月25日	2024年10月26日 ～2024年11月25日	2024年11月26日 ～2024年12月25日	2024年12月26日 ～2025年1月27日	2025年1月28日 ～2025年2月25日	2025年2月26日 ～2025年3月25日
当期分配金（税引前）	3円	3円	3円	3円	3円	3円
対基準価額比率	0.20%	0.20%	0.20%	0.20%	0.20%	0.19%
当期の収益	3円	3円	3円	3円	3円	3円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,679円	2,682円	2,684円	2,688円	2,690円	2,694円

- （注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- （注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
- （注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。
- （注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れる方針です。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続する方針です。

●WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーBRLクラス

世界的に金融当局は、インフレ抑制と景気の安定化を両立させる政策運営を継続しています。日銀を除く主要国の中央銀行は、利下げを実施しており、景気の減速に備えています。世界の景気動向に加えて、市場のボラティリティが上昇する要因として、政治の不透明感、地政学リスクの上昇などに注目しておりますが、投資対象セクターや個別銘柄の選択に注力し、将来的に財務内容の改善が期待できる銘柄など、柔軟に取捨選択しながら投資リターンを追求する方針です。

なお、クレディ・スイスの債券については、既に債券価格が大幅に下落しパフォーマンスへの追加的な影響が限定的であることやスイス当局に対する集団訴訟の動向を見極める必要があることからA T 1債を保有継続としています。今後も、市場の動向を慎重に見極めながら機動的な投資判断を実施いたします。

●国内短期公社債マザーファンド

日銀は2025年3月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は今後政策金利の引き上げを行うと見られますが、そのペースは欧米で見られたような急激なものにはならないことが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第167期～第172期 (2024年9月26日 ～2025年3月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	9円	0.583%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は1,509円です。
(投信会社)	(3)	(0.189)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(6)	(0.379)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	9	0.583	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

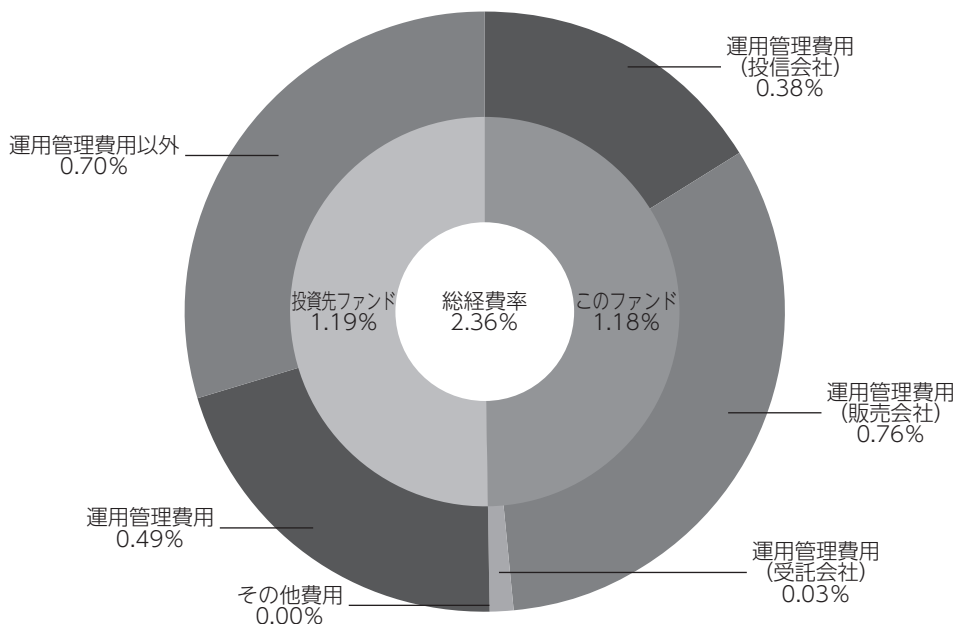
(注3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.36%です。



総経費率 (①+②+③)	2.36%
①このファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.70%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2024年9月26日から2025年3月25日まで）
投資信託受益証券

		第 167 期 ～ 第 172 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 貨 建	WAグローバル・ハイ・イールド・ ボンド（マルチ・カレンシー） ファンド－BRLクラス	千口 －	千円 －	千口 3,377,428.82	千円 216,250

（注）金額は受渡金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2024年9月26日から2025年3月25日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■**利害関係人との取引状況等**（2024年9月26日から2025年3月25日まで）
【新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコースにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引等はありません。

【国内短期公社債マザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】
期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	第 167 期 ～			第 172 期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D／C
公 社 債	百万円 109	百万円 39	% 36.3	百万円 －	百万円 －	% －

平均保有割合 3.9%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 28 作 成 期 末	第 29 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
W A グローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンドーB R L クラス	45,579,607.246	42,202,178.426	2,764,242	97.0
合 計	45,579,607.246	42,202,178.426	2,764,242	97.0

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 28 作 成 期 末	第 29 作 成 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	
	千□	千□	千円	
国 内 短 期 公 社 債 マ ザ ー ファ ン ド	6,365	6,365	6,417	

■投資信託財産の構成

2025年3月25日現在

項 目	第 29 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 2,764,242	% 96.6
国 内 短 期 公 社 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	6,417	0.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	90,790	3.2
投 資 信 託 財 産 総 額	2,861,449	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月25日)、(2024年11月25日)、(2024年12月25日)、(2025年1月27日)、(2025年2月25日)、(2025年3月25日)現在

項 目	第 167 期 末	第 168 期 末	第 169 期 末	第 170 期 末	第 171 期 末	第 172 期 末
(A) 資 産	2,996,155,137円	2,972,701,180円	2,756,736,585円	2,875,248,335円	2,840,390,832円	2,861,449,994円
コール・ローン等	75,236,617	47,492,685	73,807,488	59,136,541	99,274,393	90,790,121
投資信託受益証券(評価額)	2,914,508,972	2,859,958,310	2,676,517,002	2,809,698,426	2,734,701,162	2,764,242,686
国内短期公社債マザーファンド(評価額)	6,409,548	6,410,185	6,412,095	6,413,368	6,415,277	6,417,187
未 収 入 金	-	58,840,000	-	-	-	-
(B) 負 債	15,853,350	17,613,817	11,748,825	12,133,018	8,456,644	12,269,758
未 払 収 益 分 配 金	5,868,290	5,801,362	5,636,532	5,597,377	5,577,442	5,543,693
未 払 解 約 金	7,046,732	8,803,115	3,390,408	3,541,832	169,690	4,174,617
未 払 信 託 報 酬	2,931,100	3,001,936	2,715,186	2,986,443	2,702,845	2,545,170
その他未払費用	7,228	7,404	6,699	7,366	6,667	6,278
(C) 純資産総額(A-B)	2,980,301,787	2,955,087,363	2,744,987,760	2,863,115,317	2,831,934,188	2,849,180,236
元 本	19,560,966,797	19,337,875,547	18,788,442,571	18,657,925,253	18,591,474,499	18,478,977,882
次期繰越損益金	△16,580,665,010	△16,382,788,184	△16,043,454,811	△15,794,809,936	△15,759,540,311	△15,629,797,646
(D) 受 益 権 総 口 数	19,560,966,797口	19,337,875,547口	18,788,442,571口	18,657,925,253口	18,591,474,499口	18,478,977,882口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,524円	1,528円	1,461円	1,535円	1,523円	1,542円

(注) 第166期末における元本額は19,829,756,859円、当作成期間(第167期～第172期)中における追加設定元本額は17,678,669円、同解約元本額は1,368,457,646円です。

■損益の状況

〔自 2024年 9月26日 至 2024年10月25日〕〔自 2024年10月26日 至 2024年11月25日〕〔自 2024年11月26日 至 2024年12月25日〕〔自 2024年12月26日 至 2025年 1月27日〕〔自 2025年 1月28日 至 2025年 2月25日〕〔自 2025年 2月26日 至 2025年 3月25日〕

項 目	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
(A) 配 当 等 収 益	13,377,332円	13,329,720円	12,832,700円	12,864,942円	12,684,803円	12,658,574円
受 取 配 当 金	13,364,280	13,319,045	12,817,911	12,852,382	12,659,197	12,625,577
受 取 利 息	13,052	10,675	14,789	12,560	25,606	32,997
(B) 有価証券売買損益	26,686,274	4,259,093	△130,631,245	132,924,846	△25,376,536	29,814,425
売 買 益	26,999,249	4,635,426	2,453,531	133,190,543	4,047,511	29,768,166
売 買 損	△312,975	△376,333	△133,084,776	△265,697	△29,424,047	46,259
(C) 信 託 報 酬 等	△2,938,328	△3,009,340	△2,721,885	△2,993,809	△2,709,512	△2,551,448
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	37,125,278	14,579,473	△120,520,430	142,795,979	△15,401,245	39,921,551
(E) 前期繰越損益金	△8,086,973,206	△7,962,656,765	△7,726,706,805	△7,797,132,605	△7,631,561,212	△7,604,851,715
(F) 追加信託差損益金	△8,524,948,792	△8,428,909,530	△8,190,591,044	△8,134,875,933	△8,107,000,412	△8,059,323,789
(配当等相当額)	(2,874,271,529)	(2,841,839,798)	(2,761,439,316)	(2,742,600,384)	(2,733,158,505)	(2,717,028,881)
(売買損益相当額)	(△11,399,220,321)	(△11,270,749,328)	(△10,952,030,360)	(△10,877,476,317)	(△10,840,158,917)	(△10,776,352,670)
(G) 合 計(D+E+F)	△16,574,796,720	△16,376,986,822	△16,037,818,279	△15,789,212,559	△15,753,962,869	△15,624,253,953
(H) 収 益 分 配 金	△5,868,290	△5,801,362	△5,636,532	△5,597,377	△5,577,442	△5,543,693
次期繰越損益金(G+H)	△16,580,665,010	△16,382,788,184	△16,043,454,811	△15,794,809,936	△15,759,540,311	△15,629,797,646
追加信託差損益金	△8,524,948,792	△8,428,909,530	△8,190,591,044	△8,134,875,933	△8,107,000,412	△8,059,323,789
(配当等相当額)	(2,874,271,529)	(2,841,839,798)	(2,761,439,316)	(2,742,600,384)	(2,733,158,505)	(2,717,028,881)
(売買損益相当額)	(△11,399,220,321)	(△11,270,749,328)	(△10,952,030,360)	(△10,877,476,317)	(△10,840,158,917)	(△10,776,352,670)
分配準備積立金	2,367,380,528	2,345,280,661	2,282,772,021	2,273,575,727	2,269,553,491	2,261,765,997
繰越損益金	△10,423,096,746	△10,299,159,315	△10,135,635,788	△9,933,509,730	△9,922,093,390	△9,832,239,854

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,396,704円	11,049,421円	10,111,785円	12,601,741円	9,976,646円	11,899,337円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	2,874,271,529	2,841,839,798	2,761,439,316	2,742,600,384	2,733,158,505	2,717,028,881
(d) 分 配 準 備 積 立 金	2,360,852,114	2,340,032,602	2,278,296,768	2,266,571,363	2,265,154,287	2,255,410,353
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	5,247,520,347	5,192,921,821	5,049,847,869	5,021,773,488	5,008,289,438	4,984,338,571
(f) 1万口当たり当期分配対象額	2,682.65	2,685.36	2,687.74	2,691.50	2,693.86	2,697.30
(g) 分 配 金	5,868,290	5,801,362	5,636,532	5,597,377	5,577,442	5,543,693
(h) 1万口当たり分配金	3	3	3	3	3	3

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 167 期	第 168 期	第 169 期	第 170 期	第 171 期	第 172 期
1 万口当たり分配金	3円	3円	3円	3円	3円	3円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド

－ J P Yクラス／U S Dクラス／A U Dクラス／B R Lクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運 用 方 針	主として世界各国の高利回り社債に分散投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。また、効率的な運用を目的として、市場金利や企業の信用状態に関連するデリバティブ取引を行う場合があります。 米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、原則として債券の発行通貨売り／米ドル買いの為替取引を行います。その上で、クラスごとに以下の為替取引を行います。 J P Yクラス：原則として、米ドル売り、円買いの為替取引を行います。 U S Dクラス：原則として、為替取引は行いません。 A U Dクラス：原則として、米ドル売り、豪ドル買いの為替取引を行います。 B R Lクラス：原則として、米ドル売り、ブラジルレアル買いの為替取引を行います。
主 な 投 資 制 限	・原則として、信用格付けがB B +／B a 1 格相当以下の証券に純資産総額の80%以上を投資します。 ・同一発行体の証券への投資割合は、原則として純資産総額の5%以内とします。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行わないこととします。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。 ・他のファンドへの投資は、純資産総額の5%以内とします。 ・通常の状態において、日本において有価証券に属する証券に純資産総額の50%以上を投資します。
信 託 期 間	無期限
決 算 日	毎年3月31日
信 託 報 酬 等	純資産総額に対し年率0.50%程度 上記料率には、管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社、保管受託銀行ならびに管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これら報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。
主 な 関 係 法 人	管理会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド 投資顧問会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー 副投資顧問会社： ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社（東京） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド（シンガポール） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド（メルボルン） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・D T V M・リミターダ（サンパウロ） 受託会社兼管理事務代行会社：B N Y メロン・ファンド・マネジメント（ケイマン）リミテッド 副管理事務代行会社：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 保管受託銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン

「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーＪＰＹクラス」、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーＵＳＤクラス」、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーＡＵＤクラス」、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーＢＲＬクラス」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」を構成する個別クラスとなっております。

「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの内容

(1) 損益計算書

2024年3月31日終了年度

(日本円表示)

投資収益	
利息	304,829,809円
費用	
管理事務代行、会計代行および名義書換代理人	24,074,245円
管理会社報酬	22,377,116円
専門家	7,810,463円
保管	3,167,740円
受託会社報酬	506,401円
その他	1,480,466円
費用合計	59,416,431円
投資純利益	245,413,378円
投資、外貨換算／取引およびデリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）	
実現純利益（損失）	
投資	283,169,645円
為替予約	75,378,904円
先物取引	5,009,769円
スワップ契約	88,985円
外貨換算／取引	(6,578,163円)
実現純利益	357,069,140円
未実現純利益（損失）の純変動額	
投資	456,980,208円
為替予約	(43,675,212円)
外貨換算／取引	(2,674,034円)
未実現純利益（損失）の純変動額	410,630,962円
投資、外貨換算／取引およびデリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）	767,700,102円
営業による純資産の純増加額	1,013,113,480円

(2) 組入上位10銘柄
2024年3月31日現在

銘柄名	通貨	比率
TEVA PHARMACEUTICAL FINANCE NETHERLANDS	アメリカ・ドル	2.2%
NCL CORPORATION LTD	アメリカ・ドル	1.8
ROYAL CARIBBEAN CRUISES	アメリカ・ドル	1.6
CENTENE CORP	アメリカ・ドル	1.6
WESTERN MIDSTREAM OPERAT	アメリカ・ドル	1.5
VMED O2 UK FINAN	イギリス・ポンド	1.5
CO-OP GRP HLDS	イギリス・ポンド	1.4
CHESAPEAKE ENERGY CORP	アメリカ・ドル	1.3
UNITED AIRLINES INC	アメリカ・ドル	1.3
MERCADOLIBRE INC	アメリカ・ドル	1.3
組入銘柄数	137銘柄	

(注1) 比率は、WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの組入公社債に対する評価額の割合です。
(注2) ウェスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーのデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。

国内短期公社債マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日 2024年10月31日）

（計算期間 2023年11月1日～2024年10月31日）

国内短期公社債マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰	中 落 率			
14期(2022年10月31日)	円		%	%	%	百万円
	10,066		△0.0	—	—	178
15期(2023年10月31日)	10,064		△0.0	62.5	—	176
16期(2024年10月31日)	10,069		0.0	61.1	—	163

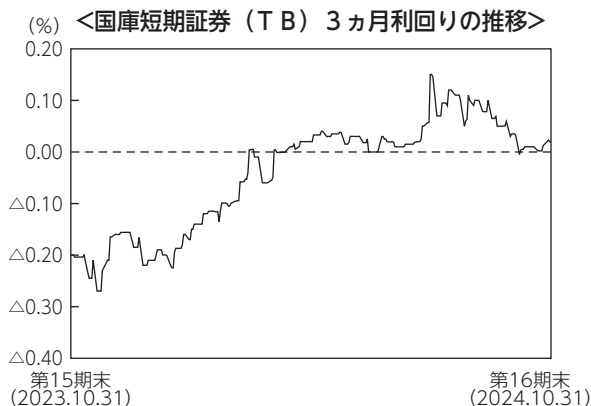
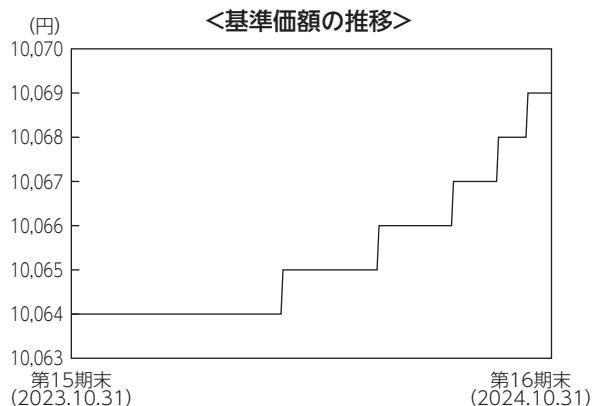
(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。
(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 券 率	債 先 物 比 券 率
		騰 落 率		
(期 首) 2023年10月31日	円	% —	% 62.5	% —
11 月 末	10,064	0.0	45.3	—
12 月 末	10,064	0.0	45.3	—
2024年 1 月 末	10,064	0.0	45.2	—
2 月 末	10,064	0.0	5.7	—
3 月 末	10,064	0.0	33.9	—
4 月 末	10,065	0.0	62.2	—
5 月 末	10,065	0.0	62.4	—
6 月 末	10,066	0.0	62.4	—
7 月 末	10,066	0.0	62.4	—
8 月 末	10,067	0.0	62.4	—
9 月 末	10,068	0.0	57.0	—
(期 末) 2024年10月31日	10,069	0.0	61.1	—

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2023年11月1日から2024年10月31日まで）



※国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,069円となり、前期末の同10,064円から0.05%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

保有債券の価格下落などのマイナス要因はありましたが、保有債券の利息収入などがプラスに影響し、前期末比で基準価額は上昇しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除し、さらに7月に政策金利を0.25%に引き上げたことから同利回りはプラス圏に上昇しました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い国債や地方債などで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は2024年10月の金融政策決定会合で、政策金利を0.25%とする金融政策を維持しました。日銀は今後政策金利の引き上げを行うと見られますが、そのペースは緩やかなものになると想定され、金利は引き続き安定的に推移することが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況（2023年11月1日から2024年10月31日まで）

公社債

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
		199,884	— (100,000)
	地方債証券	—	— (110,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等（2023年11月1日から2024年10月31日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。
(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当 期				未		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 100,000	千円 99,911	% 61.1	% —	% —	% —	% 61.1
合計	100,000	99,911	61.1	—	—	—	61.1

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示
国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当		期		末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(国債証券)	%	千円	千円		
4 4 3 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	50,000	49,998		2024/12/01
4 5 2 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	50,000	49,913		2025/09/01
合 計	—	100,000	99,911		—

■投資信託財産の構成 2024年10月31日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円 99,911		% 61.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	63,669		38.9
投 資 信 託 財 産 総 額	163,580		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年10月31日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	163,580,612円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	63,667,753
国 債 証 券(評価額)	99,911,567
未 収 利 息	1,128
前 払 費 用	164
(B) 負 債	－
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	163,580,612
元 本	162,454,050
次 期 繰 越 損 益 金	1,126,562
(D) 受 益 権 総 口 数	162,454,050口
1 万口当たり基準価額(C／D)	10,069円

■損益の状況

当期 自2023年11月1日 至2024年10月31日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	272,378円
受 取 利 息	275,685
支 払 利 息	△3,307
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△182,396
売 買 益	22,705
売 買 損	△205,101
(C) 当 期 損 益 金(A＋B)	89,982
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,123,512
(E) 解 約 差 損 益 金	△90,811
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,879
(G) 合 計(C＋D＋E＋F)	1,126,562
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,126,562

- (注1) 期首元本額 175,232,326円
追加設定元本額 606,121円
一部解約元本額 13,384,397円
- (注2) 期末における元本の内訳
- | | |
|--------------------------------|--------------|
| フロンティア・ワールド・インカム・ファンド | 99,744,150円 |
| ハイブリッド証券ファンド円コース | 27,208,015円 |
| ハイブリッド証券ファンド米ドルコース | 3,391,713円 |
| ハイブリッド証券ファンド豪ドルコース | 4,489,701円 |
| ハイブリッド証券ファンドブラジルリアルコース | 16,175,679円 |
| ハイブリッド証券ファンドマネーパールファンド | 955,242円 |
| 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド円コース | 1,392,481円 |
| 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース | 99,759円 |
| 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース | 1,193,555円 |
| 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース | 6,365,626円 |
| 新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネーパールファンド | 943,161円 |
| フロンティア・ワールド・インカム・ファンド (年1回決算型) | 494,968円 |
| 期末元本合計 | 162,454,050円 |

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。